

第 146 回東邦医学会例会プログラム

平成 27 年 6 月 17 日(水) 17 時～20 時 50 分
平成 27 年 6 月 18 日(木) 17 時～20 時 30 分
平成 27 年 6 月 19 日(金) 17 時～20 時 35 分

東邦大学医学部大森臨床講堂(5 号館 B1F)

当番教室: 17 日 生理学講座統合生理学分野 赤羽悟美教授
18 日 小児科学講座(大森) 佐地 勉教授
19 日 内科学講座消化器内科学分野(大森) 住野泰清教授

6 月 17 日(水)

開会の辞 _____ 生理学講座統合生理学分野 赤羽悟美教授
当番教室: 生理学講座統合生理学分野

A. 大学院学生研究発表 1 (発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 教授 村上義孝先生 (医療統計学分野) 1・2 席 (17:00-17:20)

1. 標準治療終了後の大腸癌症例に対する S1+ロイコボリン+ベバシズマブ併用療法の第Ⅱ相試験(8 分)
山口和久(代謝機能制御系), 指導教授:五十嵐良典教授(大森消化器内科)
審査員:鈴木康夫教授, 船橋公彦教授, 前谷 容教授
2. 黄砂曝露と小児夜間救急受診との関連(8 分)
中村孝裕(社会環境医療系), 指導教授:西脇祐司教授(衛生学)
審査員:村上義孝教授, 長谷川友紀教授, 関根孝司教授

座長: 教授 赤羽悟美先生 (統合生理学分野) 3 席 (17:20-17:30)

3. Dronedarone の電気薬理学的作用:ハロセン麻酔犬モデルでの評価(8 分)
本川佳幸(代謝機能制御系), 指導教授:杉山 篤(薬理学)
審査員:池田隆徳教授, 並木 温教授, 赤羽悟美教授

B. 一般演題 1 (発表:8 分, 討論:2 分)

座長: 教授 赤羽悟美先生 (統合生理学分野) 4 席 (17:30-17:40)

4. 抗ウイルス薬 vidarabine の電気薬理学的作用 (8 分)
○和田 剛, 曹 新, 中村裕二, 中瀬古(泉)寛子, 安東賢太郎, 杉山 篤(薬理)

C. 教授特別講演 1

座長: 教授 長谷弘記先生(大橋腎臓) 5 席 (17:40-18:00)

5. 包括的腎不全医療の講座史 35 年間 — 蛋白尿から移植まで — (20 分)

腎臓学講座(大森) 教授 酒井 謙

D. 大森病院 CPC Clinico-pathological conference (CPC)

司会: 准教授 名取一彦先生 (血液・腫瘍科) 6 席 (18:00-19:00)

6. 歩行障害で発症した小児悪性腫瘍の1例
早乙女壮彦(大森小児), 二本柳康博(大森病院病理)

E. 分科会報告 (発表:10 分, 討論:5 分)

座長: 教授 亀田秀人先生 (大橋膠原病) 7 席 (19:00-19:15)

7. 2014年呼吸器班活動報告と完全鏡視下拡大胸腺摘出術(10 分)
○桐林孝治, 芥田芳久, 渡邊 学, 中村陽一, 岡本 康, 浅井浩司, 榎本俊行, 西牟田浩伸,
萩原令彦, 石井智貴, 草地信也(大橋外科)(大橋病院外科集談会)

F. 平成 26 年度医学研究科推進研究報告 (発表:10 分, 討論:5 分)

座長: 教授 亀田秀人先生 (大橋膠原病) 8 席 (19:15-19:30)

8. 自己免疫疾患を発症する SATB1 遺伝子欠損マウスの解析 (10 分) 近藤元就(免疫)

G. 平成 26 年度プロジェクト研究報告 1 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 教授 近藤元就先生 (免疫学) 9~11 席 (19:30-20:00)

9. テリパラチド治療によるステロイド性骨粗鬆症患者の血清可溶性 RANKL の検討(8 分)
○鹿野孝太郎(大森膠原病), 高松 諒(大森整形)
10. 関節リウマチにおける midkine の働きに関する研究(8 分)
○進藤恵実子, 佐藤洋志(大森膠原病)
11. 関節リウマチ患者由来滑膜線維芽細胞におけるレジスチンの作用に関する研究(8 分)
○村岡 成, 楠 夏子(大森膠原病)

H. 一般演題 2 (発表:8 分, 討論:2 分)

座長: 教授 並木 温先生 (卒後臨床研修・生涯教育センター)12 席 (20:00-20:10)

12. 若年に発症した弧発性左室緻密化障害の 1 例(8 分)
○井出志穂, 新倉寛輝, 葉山裕真, 佐原尚彦, 皆川 恵, 長島義宜, 飯島雷輔,
原 英彦, 諸井雅男, 鈴木真事, 中村正人, 杉 薫 (大橋循内)

I. 研修医発表(大森病院初期研修医) 1 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 教授 並木 温先生 (卒後臨床研修・生涯教育センター)13 席 (20:10-20:20)

13. 悪性症候群で入院中に無気肺を呈した1例(8 分) 吉田美穂, 指導:宮崎泰斗(総診内科)
- 座長: 教授 高橋 啓先生 (大橋病院病理学)14~16 席 (20:20-20:50)
14. 掌蹠膿疱症の経過中に炎症反応高値を示した1例(8 分) 北條 紋, 指導:前田 正(総診内科)
15. 抗 EJ 抗体と抗 Ro52 抗体陽性の多発性筋炎の経過と予後(8 分)
渡邊 綾, 指導:村岡 成(大森膠原病)
16. 不明熱の精査において,ガリウムシンチグラフィと PET-CT で異常集積部位が異なった 1 例(8 分)
富田 快, 指導:石井孝政(総診内科)

6 月 18 日(木)

当番教室: 小児科学講座(大森)

J. 平成 26 年度プロジェクト研究報告 2 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 木村聡一郎先生(微生物・感染症学) 1・2 席 (17:00-17:20)

1. 鶏およびヒトから分離された *Campylobacter* 属菌のキノロン系抗菌薬耐性に関する
分子疫学的検討 (8 分) ○青木弘太郎(微生・感染), 前田 正(総診内科)
2. 感染マウスモデルを用いた市中感染型 MRSA 感染症の病態解析(8 分)
○山口哲央, 吉住あゆみ(微生・感染)

K. 研修医発表(大森病院初期研修医)2 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長:教授 館田一博先生(微生物・感染症学) 3~5 席 (17:20-17:50)

3. 診断的治療により急性胆嚢炎と判断した1例(8 分) 淵上彩子, 指導:佐々木陽典(総診内科)
4. 人工呼吸器管理とステロイドパルス療法により軽快した, 薬剤が原因と考えられた肺炎の1例(8 分)
小林達彦, 指導:石井孝政(総診内科)
5. 海外渡航歴のない患者がデング熱を発症した1例(8 分) 武田 慶, 指導:佐藤高広(総診感染)

座長:准教授 前村俊満先生(大森産科婦人科) 6~8 席 (17:50-18:20)

6. 前期破水を合併した一絨毛膜二羊膜双胎の 1 例(8 分) 中川皓貴, 指導:玉置優子(大森産婦)
7. 帝王切開既往のある全前置胎盤の 1 例(8 分) 山本友里恵, 指導:玉置優子(大森産婦)
8. 子宮平滑筋肉腫の1例(8 分) 小松史哉, 指導:北村 衛(大森産婦)

L. 大学院学生研究発表 2 (発表: 8 分, 討論: 2 分)

座長: 教授 赤坂喜清先生(先端医科学研究センター) 9 席 (18:20-18:30)

9. 落葉状天疱瘡の水疱形成機序の解析(8 分) (※この発表は平成 26 年度プロジェクト研究報告も兼ねる)
吉田憲司(生体応答系), 指導教授:石河 晃教授(大森皮膚)
審査員:向井秀樹教授, 澁谷和俊教授, 赤坂喜清教授

-- 休憩 5 分 (18:30-18:35) --

<企画担当>生理学講座統合生理学分野, 小児科学講座(大森)

「肺血管リモデリングの発症機序に迫る」

座長: 教授 藤代健太郎先生(教育開発室), 准教授 松裏裕行先生(大森小児科)

- 1) 遺伝子変異と臨床像の関連 (15分) 中山智孝, 佐地 勉(大森小児)
- 2) エンドセリン受容体シグナルからの視点 (30分)
堀之内孝広(北海道大学大学院医学研究科薬理学講座細胞薬理学分野 講師)
- 3) 肺動脈平滑筋における Ca⁺⁺シグナルの異常(30分)
山村寿男(名古屋市立大学大学院薬学研究科細胞分子薬効解析学分野 准教授)

M. 平成 26 年度プロジェクト研究報告 3 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 教授 諸井雅男先生(大橋循環器内科) 10~13 席 (19:50-20:30)

10. 川崎病心血管病変における炎症性バイオマーカー, テネイシン C 発現の意義(8分)
○横内 幸(大橋病院病理), 佐々木智子(大橋病院病理部), 直井和之(大森小児)
11. カンジダ菌体抽出物の経口投与による川崎病類似血管炎誘発活性(8分)
○榎本泰典, 大原関利章(大橋病院病理), 村石佳重(大橋病院病理部)
12. 骨髄間葉系前駆細胞による組織修復と血管新生メカニズムの解析(8分)
○中道美保(大森形成), 上野佐知, 縄田麻友(大橋形成)
13. 心-消化器連関を介した循環および脂質代謝の調節機構(8分)
○関 由成(統合生理), 土井範子(教育開発室)

6月19日(金)

当番教室: 内科学講座消化器内科学分野(大森)

N. 平成 26 年度プロジェクト研究報告 4 (発表:各 8 分, 討論:各 2 分)

座長: 教授 中島耕一先生(大森泌尿器) 1・2 席 (17:00-17:20)

1. 神経膠芽腫における Notch 発現が bevacizumab 療法に対する治療反応性に及ぼす影響(8分)
○齋藤紀彦, 石井 匡(大橋脳外)
2. 前立腺がんに対する新規遺伝子治療の開発(8分) ○上島修一, 李 芳菁(佐倉泌尿器)

O. 一般演題 3 (発表:8 分, 討論:2 分)

座長: 教授 中島耕一先生(大森泌尿器) 3 席 (17:20-17:30)

3. 前房水細胞診にて肺癌と同じ組織型が検出された難治性ぶどう膜炎の1例(8分)
○山口由佳, 岡部智子, 丸山貴大, 岡島行伸, 鈴木佑佳, 堀 裕一(大森眼科)

P. 大学院学生研究発表 3 (発表: 8 分, 討論: 2 分)

座長: 教授 中島耕一先生(大森泌尿器) 4 席 (17:30-17:40)

4. Cardio-Ankle Vascular Index を用いた前立腺癌内分泌療法と動脈硬化の評価(8分)
岡 了(生体応答系), 指導教授:鈴木啓悦教授(佐倉泌尿器)
審査員:中島耕一教授, 島田英昭教授, 関戸哲利教授

Q. 教授特別講演 2

座長: 教授 武者芳朗先生(大橋整形) 5 席 (17:40-18:00)

5. 日常診療に役立つ軟部腫瘍の知識(20分)

整形外科講座(大森) 教授 土谷一晃

〈企画担当〉 内科学講座消化器内科学分野(大森), 生理学講座統合生理学分野
「新たながん分子標的療法の開発に向けて」

座長: 教授 赤羽悟美先生(統合生理学分野)

- 1) 進行肝細胞癌に対する分子標的治療薬 sorafenib : 臨床から(20分) 永井英成(大森消内 准教授)
- 2) 進行肝細胞癌に対する分子標的治療薬 sorafenib : 基礎から(25分)
梶貝孝慈(東邦大学薬学部病態生化学 准教授)
- 3) MAP キナーゼ情報伝達経路の活性制御機構と分子標的抗癌剤(40分)
武川睦寛(東京大学医科学研究所分子シグナル制御分野 教授)

R. 研修医発表(大森病院初期研修医)3 (発表:8分, 討論:2分)

座長: 教授 中嶋 均先生(総合診療・救急医学) 6席 (19:25-19:35)

6. ランゾプラゾール内服を契機に食思不振, 慢性下痢で発症した collagenous colitis の1例(8分)
田中政俊, 指導: 佐藤高広(総診内科)

S. 一般演題4 (発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 教授 中嶋 均先生(総合診療・救急医学) 7・8席 (19:35-19:55)

7. C型慢性肝疾患に対する抗ウイルス療法後 SVR 症例の当院における発癌症例の検討(8分)
○向津隆規, 永井英成, 高亀道生, 篠原美絵, 荻野 悠, 衛藤 綾, 松井太吾,
松清 靖, 松井哲平, 靱山浩一, 池原 孝, 篠原正夫, 渡邊 学,
五十嵐良典, 住野泰清(大森消内) 石井耕司(東京蒲田医療センター内科)
8. 進行肝細胞癌合併肝硬変症例に対するソラフェニブ投与の肝線維化活性の抑制と肝実質血流の改善作用(8分)
○小林康次郎, 永井英成, 松井太吾, 向津隆規, 松井哲平, 和久井紀貴,
五十嵐良典, 住野泰清, 松尾和夫, 梶貝孝慈(大森消内)

座長: 講師 川邊清一先生(大森神経内科) 9席 (19:55-20:05)

9. 神経変性疾患鑑別のための髄液中バイオマーカーの探索(8分)
○河井貴行(佐倉臨床検査部・研究開発部), 榊原隆次(佐倉神内),
武城英明(佐倉臨床検査医学)

T. 平成 26 年度プロジェクト研究報告 5 (発表:各8分, 討論:各2分)

座長: 講師 川邊清一先生(大森神経内科) 10~12席 (20:05-20:35)

10. Gene-trap 法を用いたネクロトローシス実行遺伝子の同定(8分)
○中林 修, 三宅早苗(生化)
11. 内側視索前野で見つかった新規性的二型核の機能解剖学的解析(8分)
○恒岡洋右(微細形態), 澤田喜友(大橋泌尿)
12. 筋萎縮性側索硬化症の末梢神経をターゲットとした治療に向けた研究(8分)
○狩野 修, 平山剛久(大森神内)

閉会の辞 _____ 内科学講座消化器内科学分野(大森) 住野泰清教授

- 1) 「休憩」は当日の進行状況によっては割愛することがあります。
 - 2) 一般演題, 大学院学生研究発表, プロジェクト研究報告, 研修医発表, 医学研究科推進研究報告, 分科会報告の演者は, 開催当日までに必ず「雑誌掲載用講演抄録」(演題, 演者名, 本文 400 字程度, Keywords 英語 3 語以内*)の出力紙とデータ(FD・CD・USB 等)を受付にご提出になるか, e-mail にデータ添付でお送りください (E-mail : igakukai@med.toho-u.ac.jp)。* Keywords は東邦医学会雑誌総索引に掲載されますので, 適切な用語を選んで下さい。
 - 3) 教授特別講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 4,000 字程度にご講演内容をまとめて提出してください。
 - 4) 当番教室企画講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 3,200 字程度に総説形式の講演要旨として提出してください。
 - 5) 医学会賞受賞記念講演の先生は, 例会当日より 4 週間後に 2,000 字程度の講演要旨を提出してください。
- ※2)~4)5)とも東邦医学会雑誌近刊号に掲載の予定です。3), 4), 5)については, 詳細を受付におたずねください。

5号館地下臨床講堂 内線:3862 PHS:79930 (開催日のみ)